

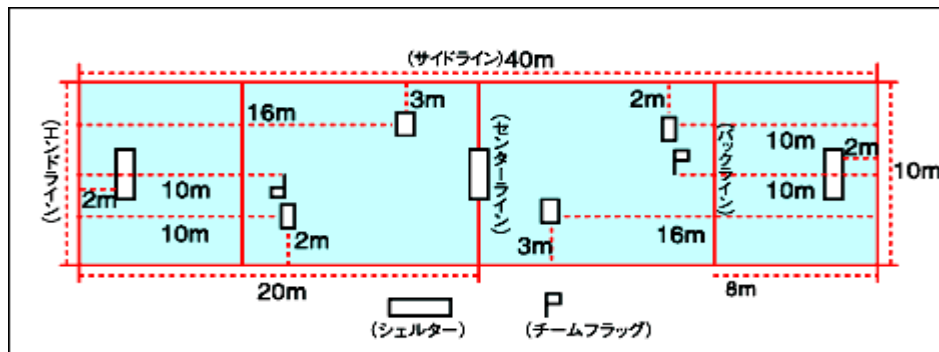
雪合戦

1 雪合戦とは

ご存じの通り、雪を手で丸めて投げ合う遊びです。これが、1987年に、現代風アレンジされ、ニュースポーツとして生まれ変わりました。

1988年公式ルールが制定され、そのルールに基づいた雪合戦大会が日本各地で実施されるようになりました。昭和新山国際雪合戦でチャンピオンを決定する大会が行われます。国境を越えたボードレス・スポーツとして、フィンランドでは欧州選手権が行なわれるほどです。強い精神力と瞬時の力、そして巧みな戦術を生み出す知力が必要となる競技です。

2 コート



3

3 用具

ヘルメット、ゼッケン。靴はスキー靴、スパイク靴以外。

4 人数

1チーム7名

5 競技の進め方

・1チームは7名で、FW (フォワード) 4名、BK (バック

ス) 3名で構成されます。

- ・ゲームは相手チームフラッグの奪取か、雪玉の直撃で相手チームプレイヤーをより多く退場させた方の勝ちになります。
- ・コート内にはシェルター、シャトーが合計8個あり、この防護壁を利用しながら相手チームのフラッグを奪取します。
- ・1チームの持ち玉は90個。競技開始時は手に持てる雪玉以外はすべてシャトー裏側の雪玉ケースに入れなければなりません。
- ・コート内での制限がいくつかあり、相手コートへの侵入は3名まで、その他FW (フォワード) は自コートエンドライン後方への後退は禁止となっています。

